

## 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



### を活用した学習の事例（指導案等）



概 要	
学年・教科・単元等	小学校6年生・国語・意見文を書いて、新聞に投書しよう！
活用方法	四つの学習過程を単元計画と本時の計画に効果的に位置付けた。特に、単元の「見いだす」では、単元のゴールを意識させ、目的意識・相手意識を明確にもたせることで、主体的な学びにつながるように工夫している。
成果等	新聞への投書という言語活動を設定したことで、「必要感、達成感、成就感」のある主体的な学習活動を展開することができた。また、意見文を書くために必要な資質・能力をメタ認知させながら学習を進めることができ、表現力の向上につながった。

1 単元名「意見文を書いて、新聞に投書しよう！」

教材名「自分の考えを発信しよう」（教育出版 ひろがる言葉 小学国語 六下）

2 単元の目標

- 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 [知識及び技能] (1) カ
- ◎ 世の中のさまざまなできごとについて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1) ア
- 意見文の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1) カ
- テーマに応じて、理由や根拠を示しながら、説得力のある意見文を書いて、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

本単元で扱う教材「自分の考えを発信しよう」は、自分が決めたテーマについて、明確な根拠をもって説得力のある意見文を書く教材である。児童は、自分の得たさまざまな情報の真意を確かめながら取材をしたり、意見と事実を区別したりしながら意見文を書いていく。これからの情報化社会を生きていくうえで必要な情報の受信者・発信者としてのメディア・リテラシーを養っていくためにも重要な学習となる。

本学級の児童は、これまでに様々な書く活動の学習に取り組んできた。「パンフレットで知らせよう」の学習では、伝える相手に応じて内容や構成、文字や図の配置を工夫すると、相手に伝わりやすいパンフレットが書けることを学んだ。また、「物語を作ろう」の学習では、筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えながら、表現を工夫して物語を書くことを学んだ。どちらの学習でも、多くの児童が目的意識をもって、意欲的に文章を書くことができた。しかし、児童が書いた文章を読んでもみると、インターネットで調べたことをそのまま書いていたり、事実と感想を区別せずに書いていたりする所が見られた。本単元では、自分の意見の説得力が増すように、事実と考えを区別して書くことの大切さを考えさせたい。また、新聞に投書するという目標を設定することで学校外や社会に向けて自分の意見を発信することのよさに気付かせたい。

第一次では、実際の小学生の新聞の投書を紹介し、自分で意見文を書くという学習のゴールをつかませたい。意見文を書くにはどのような学習が必要かを全員で考え、学習の計画を立てていく。そして、日頃感じている問題や困っていることなどから、意見文の課題を決めさせる。

第二次では、課題に応じて、取材をして意見文を書く活動をする。自分が決めた課題に応じてインターネットや書籍、インタビューやアンケートなどの取材方法を使って、幅広く情報を収集させる。ここで集めた情報が、説得力のある意見文を書くための根拠になるということを押さえたい。

第三次では、完成した意見文を読み合い感想を伝え合う。書き手の目的や意図に応じた内容になっているかを考えながら、よいところについて感想を述べ合うようにする。家に持ち帰り、保護者にも読んでもらった後、新聞に投書する活動を行う。

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 (1) カ	① 書くことにおいて、世の中のさまざまなできごとについて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 B (1) ア ② 書くことにおいて、意見文の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 B (1) カ	① テーマに応じて、理由や根拠を示しながら、説得力のある意見文を書いて、思いや考えを伝え合おうとしている。



第三次 まとめ あげる	1	○友達と意見文を読み合い感想を伝え合う。 ・保護者にも読んでもらい感想をもらう。 ○新聞に投書する。 ・読売新聞「気流」に投書する。 ○学習の振り返りをする。 ・意見文を書く活動を通して学んだことを振り返り、ノートにまとめる。	●書き手の目的や意図に応じた内容になっているかを考えながら、よいところについて伝え合わせる。 ☆[思考・判断・表現]②(ワークシート) ☆[主体的に学習に取り組む態度]① (ノート)
-------------------	---	--	--

6 本時の指導 (5/9)

(1) 本時の目標

自分の意見を明確に伝えるために、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1) ア

(2) 展開

過程 時配	○学習内容と学習活動	◆指導上の留意点 ☆評価	備考
導入 見いだす 10分	○前時までの活動を思い出させる。 ・学習計画表を確認する。	◆学習計画表を掲示することで学習の流れを 見える化し見通しをもてるようにする。 ◆自分で準備してきた情報(付箋)を確認し、意 見文の組み立て方を確認する。 ①自分の意見(青) ②意見の根拠となる出来事・資料(緑) ③予想される反論と、それに対する自分の考え (ピンク) ④自分の意見とまとめ(青)	学習計画表
展開 30分	○本時の課題をつかむ。		
	(学) 説得力のある意見文にするためには、どのような資料を選べばよいだろうか。		
自分で 取り組む	○前時までの取材メモをもとに、構成表 を考える。(個人)	◆構成表は、箇条書きで要点だけを書くように 助言する。 ◆構成表に付箋を貼りながら考えさせる。 その時に、黒板にある意見文の組み立て方を ヒントに作っていけばよいことを助言する。	意見文の組 み立て方 構成表
広げ 深める	○考えた構成表を見せ合い、話し合う。 (グループ)  ○友達の助言を受けて、構成表を見直 す。	◆友達の意見文の構成を見て、その人の主張し たいことが、読み手として伝わるかを話し合 うよう伝える。 ◆意見の根拠となる出来事や資料が足りていな い場合は、グループの中でどのような情報を 収集したらよいか、検討するように伝える。 ◆グループ内の友達からの助言を受けて、構成 表に付け足したり、新たに根拠となる情報を 調べさせたりする。 ☆自分の意見を明確に伝えるために、取材 で集めた材料を関係付けたりして、意見文の 構成をすることができる。 [思考・判断・表現]①(組み立て表)	
まとめ まとめ あげる5分	○学習の振り返りを行う。  ○次時の予告をする。	◆次時は構成表をもとに、意見文を書くことを 伝える。	

(3) 板書計画

意見文を書いて、新聞に投書しよう！

学 説得力のある意見文にするためには、  
どのような資料を選べばよいだろうか。

〈意見文の組み立て方〉

- ① 自分の意見
- ② 根拠となる出来事・資料
- ③ 予想される反論と、それに対する  
自分の考え
- ④ 自分の意見とまとめ

話合いの視点

- ・付箋の組み合わせが、意見文の組み立て方  
になっているか。
- ・その人の伝えたいことが、読み手に伝わる  
か。
- ・もしも反対意見を伝えるとしたら、何と言  
うか。

ま 説得力のある意見文にするためには、  
自分の意見の根拠となる資料を選べば  
よい。